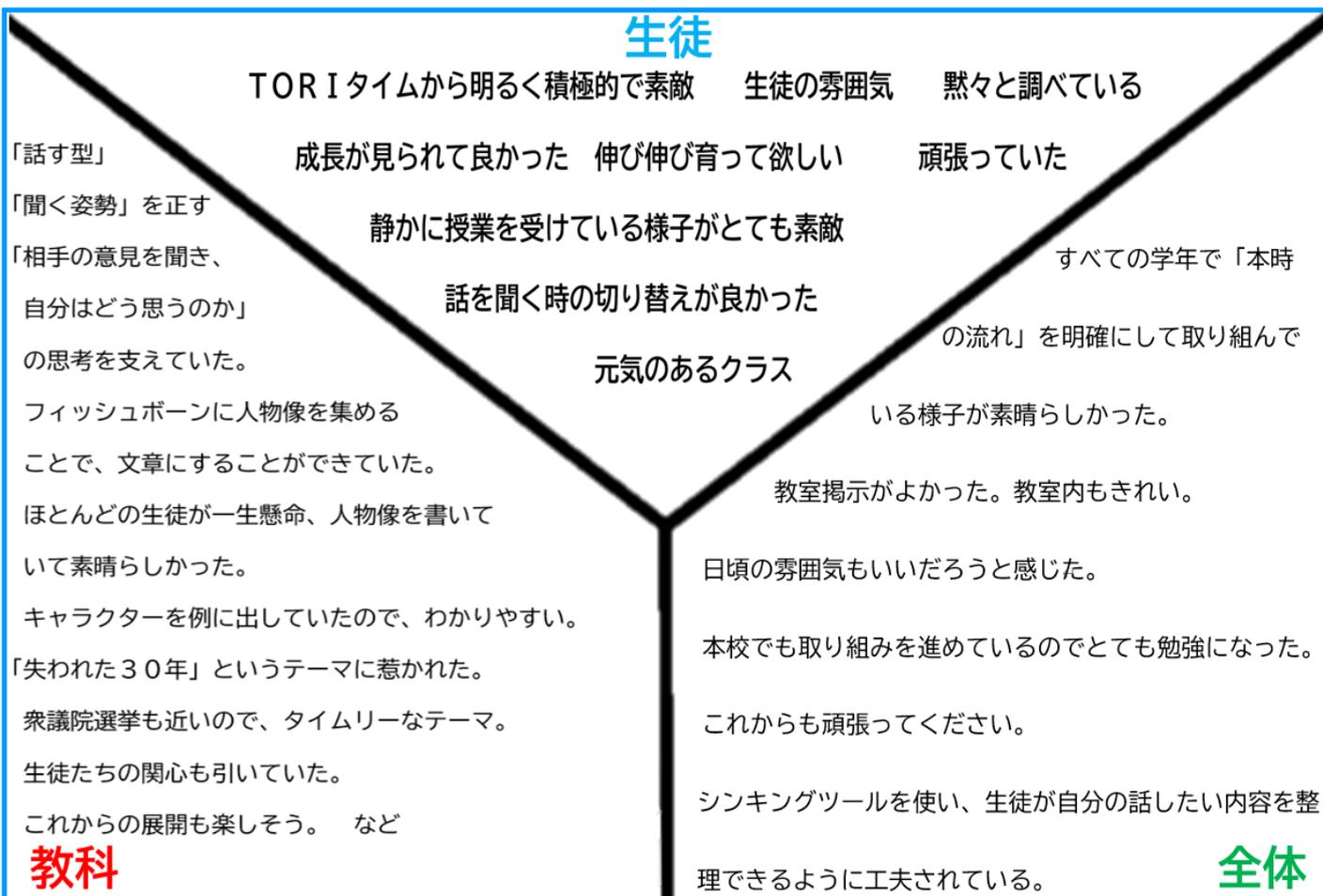


取中 取中の未来 通信

国語 数学 社会
理科 英語 音楽
美術 技 家 保体

水曜日に、開催された公開授業について掲載します。本校の取り組みにご指導いただいた岩井教授、来校していただいた先生方、また、ご協力いただいた取石中学校の教職員のみなさん、ありがとうございました。

■今週、1月21日(水)取石中学校公開授業開催



上の図[Yチャート]は、来校していただいた先生方のご感想の一部を3つの観点に分けて見ました。教科や取り組みへのご感想もありがたかったです。やはり、取中のみなさんへの温かい言葉や褒めていただいていることがうれしかったです(上記と同様の内容をたくさんいただきうれしく思います)。また、先生方それぞれが研鑽していただいていることへのご評価もいただきました。先生方にはご無理をお願いすることも多々ありましたが、本当にご協力ありがとうございました。今後も、生徒とともに学び続ける取中で、頑張っていきましょう。

(大阪大谷大学岩井特任教授のご講評・ご講演の様子[お褒めのお言葉いただきました])



★今後も多くの学校を見学し、いいところをたくさん見つけ、吸収出来る取中をめざしましょう★

■取石中学校公開授業のご意見・ご感想について

厳しい寒さの中、多くの先生方に
来校いただき、ありがとうございます。
限られた時間内にも関わらず、
いただきました貴重なご意見・ご質
問等については、出来る限りお答
えさせていただきます。次号以降の
TM通信に掲載させていただきます。

当日、お答えさせていただいたご
質問の回答を掲載いたします。
(第二部『研究協議』先生方が交流
している様子[いい雰囲気でした]→)



ご質問	回答
思考ツールの利用は、目的に応じ使い分けているのか？	思考ツールの利用は目的に応じて使い分けています。日々、授業づくりの中で試行錯誤しています。
生徒たちは初めて使う型でも戸惑いはないのか？	初めて使う型でも、モデリングを行うことで、スムーズに取り組めることが多いです。
国語と他教科との協力した授業などをこの先考えているのか？	教科横断的な課題解決をめざす授業は今後、学びを深めていく部分です。

■来週『全国学校給食週間』です。

来週1月26日(月)～30日(金)は『全国学校給食週間』です。学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町(現：鶴岡市)の忠愛小学校で、生活に苦しむ子どもたちのために昼食を出したのが始まりです。当時の記録を紹介すると「1日3度の食に事欠くほどであった」「生徒同士で弁当泥棒があった」など…。世界では約7億



人弱の人々が飢餓に直面したと推定(2024)されています。来週も当たり前前に給食が出されますが、その当たり前前に、そしてその当たり前にご尽力している方々にも感謝して、給食を食べる週間にしたいなと思います。週間中は、5つの都道府県の郷土料理が登場します。今から、楽しみです！追加で、江戸時代に現在の福島県西部を治めた会津藩の藩校である「日新館」では15歳以上の生徒に昼食を出しており、復元された日新館では「日本最初の給食制度」という説明板を掲示しています。どちらの市も発祥地を争う姿勢はなく、「両方に歴史があり、競争もなく、気にならない」と答えられていた。もっとも大切なことは、大人が子どもの命を繋ぎ、食の大切さを教え、健全な心身を育むことを他の何よりも優先させたい強い思いが共通していました。昨年、米不足など食について考えさせられることがありましたが、食べ物について考える『食育』も生きるうえで大切な学びになりますね。

『給食』発祥の2つの街

会津藩領地 (現：福島県会津若松市)		山形県鶴岡町 (現：山形県鶴岡市)
1806年(藩校開講3年後)	始まった年	1889(明治22年)
会津藩校『日新館』	始まった場所	大督寺内の忠愛小学校
会津藩	始めた人	佐藤靈山和尚・お坊さんたち・町人
生徒の心身における健康促進	始めた理由	困窮家庭の子どもを救うため

日本
で
最
初
の
給
食
制
度

日新館ができて三年目の文化三年(一八〇「十五才以上の者に昼飯の賚を給せらる」録があり、日本の最初の給食制度といわれてす。内容は極めて質素で「汁一菜が基本でした